

## まえがき

『デイリーコンサイス国語辞典』は、初版刊行以来、高機能・高密度の内容を小型の判型に収め、実用性を最大限に追求してきた。幸いにして多くの読者からご支持をいただき、小型携帯版横組み国語辞典という新しいスタイルとして定着し、2009年には第5版まで改訂を重ねた。

現代は人々の交流が一段と密になり、複雑多岐にわたっている。しかしながら、その基盤が言葉にあることは言うまでもなく、言葉によるコミュニケーションの担うべき役割はますます重みを増している。第5版を世に送り出してから早くも8年余り、我々を取り巻く社会状況は大きく変化した。大きな災害をいく度も経験した。スマートフォンをはじめとする情報機器はすっかり定着を見た。めまぐるしい社会の状況の変化が新しい言葉を生み出し、言葉の意味を変容させている。そして、大きくは2010年に現代の日本語を表記するための漢字使用の目安である「常用漢字表」が改められた。常用漢字が増え音訓も追加されて漢字使用の幅が広がった。これらの状況に対応し、第6版をここに刊行する。

第6版の改訂に当たっては、本辞典編集の原点となっている、使用者の立場に立って有用な情報をわかりやすく呈示し、真に使いやすい実用性にすぐれた辞書を目指すという基本的な立場を貫き、新語の収集と見直しを行なった。

新語を収集するに当たっては、多くの人が目にし耳にする情報源——新聞や週刊誌、雑誌類、テレビ、ウェブサイトなど——から現代生活の多方面の核となる言葉を採録することを心がけた。

解説を付すに当たっては、初版以来の、簡潔・明快・的確という方針を堅持した。

国語辞典の大きな役割のひとつである表記情報の面でも、表記欄に標準表記・参考表記を明示して、日本語の適切な表記を知りたいという読者の要求に対応するようにしている。第6版では、旧版にも増して標準表記にカタカナ表記が増えている。これも新しく採録した語に外来語が多く、その実態が反映したものである。

以上のような編集方針のもとに第6版の改訂に当たった。

佐竹秀雄先生（日本漢字能力検定協会 現代語研究室長・武庫川女子大学名誉教授）には、編集方針の検討、採録語彙の選定、

原稿の全般的な校閲など，中心となって進めていただいた．あわせて編集にご協力いただいた先生方のお名前をあげて深甚なる謝意を表す．（敬称略）

岡 優子

木川 行央

小林 澄子

佐竹久仁子

ここでいちいちのお名前をあげることはできないが，校正などの編集にかかわる地道な作業にご協力をいただいた多くの方々にお礼を申し上げる．組版・印刷・製本を担当していただいた方々にも謝意を表したい．

この『デイリーコンサイス国語辞典』第6版は，多くの読者の方々から寄せられたご意見・ご要望を糧として結晶したものである．版を重ねるたびごとに常に「最新」の携帯版国語辞典として読者の身近に置かれ，愛用していただけることを目指し，今後とも内容の充実をはかっていきたい．ひきつづいてのご指摘とご批判をお願いする次第である．

2018年1月

三省堂編修所

## あ

あ<sub>1</sub>(感) ああ。

あ[亜] Ⅰ アジア。\*亜細亜から。Ⅱ ㊦ 準じる。▶~熱帯

ああ(副) あのように。▶~した(=あのような)

ああ<sub>1</sub>(感) ① 嘆声の一。\*嗚呼は文語的表記。② 肯定・承知・受け答えの語。▶~、そう③ 呼びかけの語。▶~、きみきみ ◇\*「あ」とも。/㉔㉕は目上に使うと失礼。

アーカイブ<sub>3</sub> archive デジタルデータ化した大規模な資料。また、そのためのデータの圧縮技術。\*古文書、公文書館の意。

アーガイル<sub>3</sub> argyle 洋服で、ひし形模様。

アーキテクチャー<sub>4</sub> architecture ① 建築(-学)。② コンピューターの基本構造。

アークとう[一灯] 電灯の一。2つの電極間で弓形の光を発する。\*アークは弧の意。

アーケード<sub>3</sub> arcade ① 商店街で、日よけ・雨よけの屋根をつけた道。② 大建造物で、丸い天井をもつ通路。

アース<sub>1</sub> earth ㄱ 電気機器と大地を結ぶこと。また、そのコード、接地。\*大地・土の意。▶~カラー<sub>4</sub> ~color 大地の色、茶系統の色。▶~ワーク<sub>4</sub> ~work 現代美術の一。ランドアート。\*大地や自然物を素材に大規模に制作される。

アーチ<sub>1</sub> arch ① 建築の構造で、弓形(-の門)。迫拝窓。② 野球で、ホームラン。▶~をかける

アーチェリー<sub>1</sub> archery 洋弓(-術)。また、その競技。

アーティスティック<sub>5</sub> artistic ㊦ 芸術的。▶~スイミング<sub>9</sub> ~swimming シンクロナイズドスイミングの新しい名称。

アーティスト<sub>1</sub> artist 芸術家。アーティスト。㊦ アルチザン

アーティチョーク<sub>4</sub> artichoke 西洋野菜の一。つぼみを食べる。チョウセンアザミ。

アーティフィシヤル<sub>3</sub> artificial ㄱ 人工的。技巧的。㊦ ナチュラル

アート<sub>1</sub> art ① 芸術。美術。② アート紙。▶~紙<sub>3</sub> つやのある上質紙。▶~シアター<sub>4</sub> ~theater 芸術映画専門の劇場。▶~セラピー<sub>4</sub> ~therapy 芸術療法。\*ダンスや音楽を通して治療する。▶~ディレクター<sub>5</sub> ~director ① 演劇の美術監督。② 広告美術の専門家。▶~フェア<sub>4</sub> ~fair 現代美術の見本市。

アーバン urban ㊦ 都会の。▶~ライブ

アーベント<sub>1</sub> ㄱ Abend 夜に催す音楽会(映画会)。…の夕べ。▶シヨパン~ \*夕方

アーミー<sub>1</sub> army 軍隊。特に、陸軍。▶~ナイフ<sub>5</sub> ~knife 多機能な折り畳み式小型ナイフ。\*軍隊で日用品として採用。▶~ルック<sub>5</sub> ~look 兵士風の服装。

アーム<sub>1</sub> arm ① 腕。② 腕状のもの。▶いすの~ ▶~チェア<sub>4</sub> ~chair ひじ掛けいす。▶~ホール<sub>4</sub> ~hole 洋服のそでぐり。▶~レスト<sub>4</sub> ~rest ① 座席などのひじかけ。② デスクワークに用いる、腕用のまくら。▶~レスリング<sub>4</sub> ~wrestling 競技としての腕相撲。

アーメン ㄱ amen (感) キリスト教で、祈り

などの後に唱える語。\*確実・まこと

アーモンド<sub>1</sub> almond パラ科の小高木。実は菓子・料理の材料や薬用に、巴旦杏ㄱ。

アーリアじん<sub>4</sub> [一人] インドヨーロッパ語族の人々。\*アーリアは梵語ㄱで高貴の意。

アール<sub>3</sub> are ㊦ 面積の単位の一。100m<sup>2</sup>。

アール<sub>3</sub> art ▶~デコ<sub>4</sub> ~ㄱ déco 装飾美術の様式の一。\*1920年代に流行。▶~ヌーボー<sub>4</sub> ㄱ ~nouveau 建築・工芸の新様式。\*20世紀初頭、フランスで流行。

アールエイチいんし<sub>7</sub> [Rh因子] 血球中の因子の一。アールエッチ因子。\*その有無によってRh+とRh-に分けるのがRh式血液型。

ああん Ⅰ<sub>1</sub>(感) 嘆声の一。ああ。Ⅱ ㊦ ((と)副・ㄱ) 泣いたり、口を開けたりするようす。

あい[相] ㊦ ① 一緒に。▶~乗り ② 互いに。▶~知る ③ 語調を整える。▶~成らぬ/~すみません

あい[合い] 合い着。合い服。

あい[愛] ① かわいがり大切に思う-こと(心)。② 恋。▶~の結晶ㄱ(連) 愛し合う男女の子供。▶~の鞭ㄱ(連) 愛するがゆえにとる厳しい態度。

あい[藍] ① \*タデ科の一年草。② アイの葉や茎から採る染料(-の色)。藍色。

アイ<sub>1</sub> eye 目。|| 目に似たもの。▶カメラ

あいあいがさ<sub>5</sub> [相合い傘] 1本の傘を男女ふたりでさすこと。

アイアン<sub>1</sub> iron ボールを打つ部分が鉄製のゴルフクラブ。\*鉄の意。㊦ ウッド

あいいれな・い<sub>4</sub> [相<sup>ㄱ</sup>容れない] (形) 互いに一致しない(受け入れない)。

あいいろ [藍色] 濃い青色。インジゴ。

あいりん [合印] 書類や帳簿で、照合のしるしに押し印。合判。

あいりん [愛飲] ㄱ 特定の嗜好<sup>ㄱ</sup>飲料を日ごろから好んで飲むこと。

あいうち [相打ち・相討ち・相撃ち] 両者が同時に打ち合うこと。|| あいこ。

あいえんか [愛煙家] タバコが好きな人。

あいえんきえん<sub>5</sub> [合縁奇縁] 男女の気が合う合わせぬは、みなふしぎな縁による。

あいおい [相生い] ① 同じ木の根から2本の幹が生長すること。▶~の松 ② 夫婦が共に長生きすること。\*「相老い」の意。

あいか<sub>1</sub> [哀歌] 悲しい思いの歌。エレジー。

あいかかり<sub>3</sub> [相懸かり] ① 将棋の序盤で、双方が同様の駒<sup>ㄱ</sup>組みで対すること。② 敵味方が同時に互いに攻め合うこと。

あいかぎ [合い鍵] その錠に合う別の鍵。

あいかた Ⅰ [相方] ① 相手。② (・<sup>ㄱ</sup>敵<sup>ㄱ</sup>娼:) (遊里で)客の相手の遊女。Ⅱ [合方] ① 能で、はやし(-方)。② 歌舞伎で、せりふに合わせて入れる三味線。

あいかも \* ㄱ 問<sup>ㄱ</sup>鴨<sup>ㄱ</sup>合<sup>ㄱ</sup>鴨 マガモとアヒルとの雑種。食用。

アイカラー<sub>3</sub> eye color アイシャドー。

あいかわらず [相変わらず] (副) 以前と同様に。

## あ

**あいかん** [哀感] もの悲しい感じ。▶～をこめて歌う  
**あいかん** [哀歎] [文] 悲しみと喜び。▶～をもににする  
**あいかん** [哀願] (俗) 哀れっぽく頼むこと。  
**あいかん** [愛玩] (俗) 大切にしておかわいがること。▶～動物  
**あいぎ** [合い着・7間着] ①上着と下着との間に着る衣服。②合い服。  
**あいきどう** ③ [合気道] 武道の一。護身が目的で、関節わざが中心。  
**あいきやく** [相客] 同席(同室)の客。  
**アイキャッチャー** ③ eye-catcher 広告で、人目をひくデザイン。  
**あいきよう** ③ [愛敬・愛嬌] ①にこやかでかわいこと。②あいそ。▶～をふりまく  
**あいきよう** [愛郷] ▶～心③ 郷土を愛する気持ち。  
**あいきようげん** ③ [7間狂言] 能で、狂言師が演ずる部分。  
**あいくち** 合口・ヒ首① つばのない短刀。  
 \*その長さから九寸五分ともいう。  
**あいくち** [合い口] 相性。▶～が悪い  
**あいくるしい** ⑤ [愛くるしい] (形) あどけなくてかわいらしい。  
**あいくん** [愛犬] かわいがっている犬。また、犬をかわいがること。▶～家  
**あいこ** (相子) 勝負なし。㊦ひきわけ  
**あいこ** ① [愛顧] (俗) 引き立てること。ひいき。▶～ごをいただく ㊦恩顧  
**あいご** [相碁] 棋力が等しい者どうしの碁。  
**あいご** ① [愛護] (俗) かわいがり大事にすること。  
**あいこう** [愛好] (俗) 愛し好むこと。▶～者  
**あいこう** [愛校] 自分の学校を愛すること。▶～心  
**あいこく** [愛国] 母国を愛すること。  
**あいこことば** ③ [合い言葉] ①仲間を確認する合図の言葉。②主義や主張を示す標語。  
**あいごま** [7間駒] 将棋で、防御のために相手の駒の利き筋に打つこと(駒)。あい。▶～がきく  
**アイコン** ① icon コンピューターの画面に表示される、プログラムやファイルを示す絵や図形。  
 \*アイコンから。  
**アイコンタクト** ⑤ eye contact 視線を合わせて意思を通じること。  
**あいさい** [愛妻] 妻を愛し大切にすること。また、その妻。▶～家  
**あいさつ** ① 挨拶 (俗) ①「こんにちは」や「さようなら」などの言葉。②会合や集会の儀礼的な言葉(-を述べること)。▶就任の～ ③うけこたえ。▶～に困る ④⇒ごあいさつ ▶～代わり⑤ 交際のための、あいさつの代わりとなるもの(品物)。  
**あいに** ① [哀史] 悲しい歴史(物語)。  
**あいに** ① [愛児] かわいがっている自分の子供。  
**あいはあ** ④ [愛し合う] (五) 互いに愛する。  
**アイシー** [IC] \*integrated circuit の略。▶～タグ⑤ 半導体集積回路とアンテナを組み込んだ超小型通信装置。  
**あいにゃ** [愛車] 愛用の自動車(オートバイ)。  
**あいにゃく** [愛着] (俗) あいちゃく。  
**アイシャドー** ③ eye shadow 目の周りに塗って、目元を引き立たせる化粧品。\*アイシャドウとも。

**あいしゅう** [哀愁] やるせない悲しみ。▶～を帯びたメロディー  
**あいしょ** [愛書] ①本が好きなこと。▶～家  
 ②愛読書。  
**あいしょう** [哀傷] (俗) 悲しみに心をいためること。▶～歌  
**あいしょう** ③ [相性] ふたり(男女)の気性が合うこと。  
**あいしょう** [愛称] ニックネーム。あだ名。  
**あいしょう** [愛妾] 気に入りのめかけ。  
**あいしょう** [愛唱] (愛誦) (俗) 好んで口ずさむこと。▶～歌③ 好んで歌う歌。  
**あいによう** [哀情] 悲しい気持ち。  
**あいによう** [愛情] 愛する気持ち。  
**あいによう** [愛嬢] [文] まなむすめ。\*他人の娘についていう。㊦令嬢 ㊦息  
**あいじん** [愛人] ①恋人。②情人。  
**アイシング** ① icing ① (俗) 患部を冷やすこと。②洋菓子の砂糖の衣。③アイスホッケーの規則の一。アイシングザック。  
**あいにす** ① [愛す] (五) あいする。  
**アイス** ① ice ①こおり。②アイスクリーム・アイスキャンデーの略。③高利貸しの俗称。\*氷菓と同音から。▶～アリーナ⑤ arena スケートリンク。▶～キャンデー④ 日～candy 棒状の氷菓子。▶～キューブ④ ～cube 角氷。▶～クリーム⑤ ～cream 冷たい乳製品の一。▶～コーヒー④ ～coffee 冷たいコーヒー。▶～ショー④ ～show アイススケートによるショー。▶～スケート⑤ 氷上をすべるスケート。\*ice skating から。▶～スマック⑤ 日～smack チョコレートで包んだアイスクリーム。スマック。▶～ダンス④ フィギュアスケートの種目の一。男女のペアで踊る。\*ice dancing から。▶～ティ④ ～tea 冷たい紅茶。▶～ピック④ ～pick 氷を割る錐。▶～ペール④ ～pail 水入れ。▶～ボックス④ ～box 水で冷やす(-携帯用)の冷蔵庫。▶～ホッケー④ ～hockey 氷上でスケートをはいてするホッケー。1チーム6人。▶～ミルク④ ～milk ①冷たい牛乳。②アイスクリーム状食品の一。\*乳固形分10%以上、乳脂肪分3%以上。  
**あいにず** ① [合図] (俗) 前もって決めたサイン。  
**アイスバーン** ④ 氷 Eisbahn 積雪の表面が氷のようになった状態。  
**あいにすべき** ④ [愛すべき] (体) かわいくて親しみを感じる。  
**あいにする** ③ [愛する] (俗) ①かわいがり大切にすること。②好む。▶酒を～ ③恋する。  
**あいにせき** [合い席・相席] (俗) (飲食店で)他の客と同席すること。  
**あいにせき** [哀惜] (俗) [文] 人の死などを悲しむ惜しむこと。  
**あいにせき** [愛惜] (俗) ①愛して大切にすること。②おしむこと。▶落花に対する～  
**あいにせつ** [哀切] (名・ダ) 哀れで悲しいこと。  
**あいにせん** ① [相先] 碁や将棋で、互い先。  
**あいにぜん** [愛染] (仏) 愛欲の煩惱にとらわれること。▶～明王 ㊦  
**アイゼン** ① 登山靴につけるすべり止めの金具。  
 \*Steigeisen から。  
**あいにぜんごして** [相前後して] (連) 次々に。  
**あいにそ** ① [哀訴] (俗) 涙ながらに訴えること。  
**あいにそ** ① 愛想 ①人当たりがよいこと(言

葉)。②もてなし。▶何の～もない ③⇨おあいそ ◆\*「あいそ」の転。▶～が尽つ・きる いやげがさす。▶～がな・い 人当たりが悪い。▶～尽ぶかし<sub>4</sub> いやになって、見捨てること。▶～もこそも尽つき果は・てる まったくきらいになる。▶～笑<sub>い</sub>い<sub>4</sub>(<sub>5</sub>) 相手にへつらうつくり笑い。

あいそ<sub>3</sub>[愛想] あいそ。

あいぞう[愛憎] 愛と憎しみ。

あいぞう[愛蔵](<sub>5</sub>) 大切にしまっておくこと。▶～版

あいそく[愛息] [文]かわいがっている息子。\*他人の息子についていう。㊦令息 ㊧愛嬢

アイソタイプ<sub>4</sub> isotype 絵文字言語。\*international system of typographic picture education の略。/オーストリアのオート＝ノイラトが開発。

アイソトープ<sub>4</sub> isotope 同位体。同位元素。

あいぞめ[藍染め] アイの染料で～染めること(染めたもの)。

あいた[開いた] ▶～口<sub>5</sub>がふさがらな・い あきれてものも言えない。

あいだ[間] ①時間・空間のへだたり。また、その範囲。②な・か。▶木立ちの～ ③関係。▶親子の～ ▶～柄<sub>4</sub> 人と人との関係。▶～に立た・つ 仲介する。

アイターン<sub>3</sub>[I—] <sup>日</sup>I turn 都会出身者が地方で就職、定住すること。\*Uターンのもじり。

あいたい[相対] 差し向かい(対等)で物事をする。▶～<sub>7</sub>尽す<sub>く</sub> 互いに～承知(相談)の上ですること。

あいたい<sub>1</sub>する<sub>1</sub>[相対する](<sub>5</sub>) ①互いに向かい合う。②対立する。

あいたしゆぎ<sub>4</sub>[愛他主義] 他人の利益と幸福をめざして行動する主義。㊦利己主義

あいたずさ<sub>1</sub>える<sub>1</sub>[相携える](<sub>下</sub>) 互いに協力する。

あいやく[愛着](<sub>5</sub>) 心ひかれ思い切れないこと。あいじゃく。㊦執着・未練

あいちょう[哀調] もの悲しい調子。

あいちょう[愛鳥] ①(野生の)鳥をかわいがること。②かわいがっている鳥。▶～週間<sub>あつ</sub><sub>5</sub> バードウィーク。5月10日から1週間。

あいつ(<sub>7</sub>彼<sub>7</sub>奴)(<sub>代</sub>) 「あの・あれ」のぞんざいな言い方。\*「あやつ」の転。

あいついで<sub>1</sub>[相次いで](<sub>副</sub>) 次々と。

あいつ<sub>1</sub>く<sub>1</sub>[相次ぐ](<sub>五</sub>) 次々に続く。

あいつち 相<sub>7</sub>槌<sub>7</sub>・相<sub>7</sub>鎚<sub>7</sub> ▶～を打<sub>7</sub>・つ 人の話に受け答えをし、うなづく。\*鍛冶<sub>7</sub>で、2人が互いに鎚を打ち合うことを相鎚<sub>7</sub>といった。

あいて<sub>3</sub>[相手] ①対象となる～もの(人)。②仲間。▶遊び～ ③敵。▶～に不足はない ▶～次第<sub>あ</sub><sub>4</sub> 物事が相手の出方で決まること。▶～取<sub>あ</sub><sub>4</sub>(<sub>五</sub>) 争いの相手とする。▶～にならな・い 実力などに差がありすぎて、対抗できない。

アイデア<sub>1</sub> idea 着想。アイディア。▶～マン<sub>4</sub> <sub>日</sub>～man 名案を次々に出す人。

アイディーカード<sub>5</sub>[ID—] 身分証明書。\*identify card の略。

あいだし[相弟子] 同じ先生に学ぶ者どうし。

アイテム<sub>1</sub> item ①(データの)項目。②(収集品や服の)品目。▶人気の～

アイデンティティー<sub>3</sub> identity 自分は自分であって、他人とは違うこと。自己同一性。

あいとう[哀悼](<sub>5</sub>) 人の死を悲しみいたむこと。▶～の意を表する ▶～の辞<sub>5</sub>(<sub>連</sub>) 悔やみの言葉。

あいとう[愛刀] 愛用の刀。▶～正宗<sub>5</sub>

あいどく[愛読](<sub>5</sub>) 好んで読むこと。

あいともな<sub>1</sub>[相伴う](<sub>五</sub>) ①連れだつ。②一緒に現れる。

アイドリング<sub>1</sub> idling(<sub>5</sub>) 機械(自動車)のエンジンを空転させること。\*回転数の調整のために行なう。▶～ストップ<sub>7</sub> <sub>日</sub>～stop 自動車の駐停車時、エンジンを止めること。

アイドル<sub>1</sub> idol かわい(かっこいい)人気者。\*もとは偶像、崇拜される～物(人)。

あいなかば<sub>1</sub>する<sub>1</sub>[相半ばする](<sub>5</sub>) 半分ずつの状態だ。▶功罪～

あいなめ\* (♯鮎<sub>7</sub>並) 近海魚の一。アブラメ。

あいな<sub>1</sub>る<sub>1</sub>[相成る](<sub>五</sub>) 「なる」の改まった言い方。

あいにく:(<sub>7</sub>生憎<sub>7</sub>・<sub>合</sub>憎<sub>7</sub>) (と)副・ダ 具合がわるいようす。▶～(と)留守<sub>7</sub>だ

アイヌ<sub>1</sub> <sub>アイ</sub>ainu 北海道や樺太<sub>7</sub>に住む民族。\*古くは「えぞ」「えみし」とよばれた。/人の意。

あいのこ[合いの子・<sub>7</sub>間の子] 混血児。雑種。|| 中間的なもの。\*差別的表現。

あいのて<sub>3</sub>[合いの手・<sub>7</sub>間の手] 歌や踊りに合わせて入れる手拍子やかけ声。\*もとは、歌と歌の間の、三味線の演奏。|| 話と話の間にはさむ言葉。▶～を入れる

あいのり[相乗り](<sub>5</sub>) 乗り物と一緒に乗ること。|| 共同で事業などをする。

あいは<sub>1</sub>愛馬<sub>1</sub> かわいがっている馬。また、馬をかわいがること。

アイパー<sub>1</sub> こて(アイロン)を使ってかける男性用パーマ。\*<sub>日</sub>iron permanent から。

あいは<sub>1</sub>む<sub>1</sub>[相<sub>7</sub>食む](<sub>五</sub>) 食い合う。▶骨肉～(=血縁関係にある者どうしが争う)

あいはん[合判] あいひん。

アイバンク<sub>3</sub> eye bank 失明者への角膜移植をあっせんする機関。目の銀行。

あいはん<sub>1</sub>する<sub>1</sub>[相反する](<sub>5</sub>) 一致しない。

アイビー<sub>1</sub> ivy ツタの一種。▶～スタイル<sub>6</sub> <sub>日</sub>～style アイビールック。▶～リーグ<sub>5</sub> Ivy League アメリカ東部の8大学で結成するリーグ。▶～ルック<sub>5</sub> アイビークの学生風の服装。\*Ivy League look から。

アイビー[IP] \*Internet Protocol の略。▶～電話<sub>5</sub> インターネットの回線を使った電話。

アイピーエスさいぼう<sub>7</sub>[iPS細胞] 体細胞に遺伝子操作を加えてつくる細胞。さまざまな細胞に変化する。人工多能性幹細胞。▶ヒト～ \*induced pluripotent stem cells

あいびき[合い<sub>7</sub>挽き] 牛と豚の肉をまぜて挽くこと(挽いた肉)。

あいびき<sub>1</sub>逢い引き<sub>1</sub>(<sub>5</sub>) 男女の密会。

あいびよう[愛猫] かわいがっている猫。また、猫をかわいがること。

アイピロー<sub>3</sub> eye pillow 目に当てて目の疲れをとる小さな枕。目枕。

あいぶ<sub>1</sub>[愛<sub>7</sub>撫](<sub>5</sub>) かわいがりなでさすること。

あいふく[合い服・<sub>7</sub>間服] 冬服と夏服の間に着る衣服。

あいふだ[合い札] ①金や品物を預かった証拠に渡す札。②割り符。

# アルファベットの略語・記号一覧

- 1 現在、一般にアルファベットで書き表わされる略語・記号のうち、使用頻度の高いものをまとめ、ABC順に示した。
- 2 A型・X線のように、アルファベットと漢字・仮名がまざった表記の語は、辞書の本文中に示したのものもある。

**A** ①記号で、順序・組分けの1番め。▶1年～組 ②段階の1番め。▶～クラス ③血液型の一。A型。④紙の大きさの一。A判。⑤答え。\*answer ⑥電流の単位アンペアを表わす記号。⑦長さの単位オングストロームを表わす記号。⑧隠語で、キス。

**Å** 長さの単位オングストロームを表わす記号。

**a** 面積の単位アールを表わす記号。

**@** ⇨アットマーク

**AA** アジア・アフリカ-地方(諸国)。\*Asian-AfricanまたはAfro-Asianの略。

**AAM** 空対空ミサイル。\*air-to-air missile

**A.B.** 米国で、文学士・文科系学士。\*<sup>ア</sup>Artium Baccalaureus →B.A.

**ABC** 英語のアルファベット(=の最初の3文字)。||ものごとの初歩・基本。▶運転の～▶～兵器<sup>き</sup> 原子兵器・生物兵器・化学兵器の総称。\*atomic, biological and chemical weapons

**ABM** 弾道弾迎撃ミサイル。\*antiballistic missile

**ABS** ①自動車で、ブレーキをかけたとき、車輪がロックして運転操作が効かなくなるのを防ぐ自動制御システム。\*anti-lock brake system ②資産担保証券。\*asset-backed securities

**AC** ①交流電流。②DC \*alternating current ②アダルトチルドレン。\*adult children

**Ac** アクチニウムの元素記号。\*actinium

**ACTH** 副腎皮質刺激ホルモン。アクス。\*adrenocorticotrophic hormone

**AD** ①現金自動預金機。\*automatic depositor ②アシスタントディレクター。\*assistant director ③アートディレクター。\*art director

**A.D.** 西暦の紀元を表わす記号。\*A.D.331または331A.D.のように書く。/<sup>ア</sup>anno Domini ④B.C.

**ADEOS** 地球観測プラットフォーム技術衛星。アデオス。\*Advanced Earth Observing Satellite

**ADHD** 注意欠陥多動障害。注意力に欠陥があり、落ち着きなく動き回る。\*attention deficit hyperactivity disorder

**ADI** (有害物質の)1日当たり摂取許容量。農薬などについていう。\*acceptable daily intake

**ADL** 介護福祉用語で、人の日常生活動作。\*activity of daily living

**ADSL** 電話回線を用いた高速のデータ通信技術の一。\*asymmetric digital subscriber line

**AED** 突然、心停止状態に陥った人に使う救命装置。自動体外式除細動器。\*automated external defibrillator

**AF** 空軍。\*Air Force

**AFP** フランス通信社。\*<sup>ア</sup>Agence France-Presse

**AFTA** アセアン自由貿易地域。アフタ。\*ASEAN Free Trade Area

**Ag** 銀の元素記号。\*<sup>ア</sup>argentum

**AGM** 空対地ミサイル。\*air-to-ground missile

**AGT** 無人軌道交通機関。空港での無人軌道シャトルバスなど。\*automated guideway transit

**AI** ①⇨アムネスティ \*Amnesty International ②人工知能。\*artificial intelligence

**AID** 非配偶者間の人工受精。\*artificial insemination by donor

**AIDS** ⇨エイズ

**AIIB** アジアインフラ投資銀行。中国の主導で、途上国のインフラ整備の費用を貸与する銀行。\*Asian Infrastructure Investment Bank

**AIM** 空対空迎撃ミサイル。\*air-launched intercept missile

**Al** アルミニウムの元素記号。\*aluminium

**ALS** ①自動着陸装置。\*automatic landing system ②筋萎縮性側索硬化症。\*amyotrophic lateral sclerosis ③抗リン球血清。\*antilymphocyte serum

**ALT** 外国語指導助手。外国語教育で、会話の指導などにあたる外国人補助教員。\*assistant language teacher

**AM** ①振幅変調。音声などの信号を電波で伝送する際の変調の方式の一。ラジオの中波放送やテレビ放送に利用。→FM① ②AM①による放送。AM放送。◇\*amplitude modulation

**Am** アメリシウムの元素記号。\*americium

**a.m.** 午前を表わす記号。A.M.とも。\*9.30 a.m.のように書く。/<sup>ア</sup>ante meridiem ④p.m.

**AMDA** アジア医師連絡協議会。アムダ。\*Association of Medical Doctors of Asia

**AMeDAS** アメダス。全国に設置した自動気象観測システム。\*Automated Meteorological Data Acquisition System

**AMEX** NYSEアメリカンの通称。アメックス。\*American Stock Exchange

**ANS** アジア通信社。\*Asian News Service

**ANSI** 米国国家規格協会。\*American National Standards Institute

**ANSP** ⇨KCIA \*Agency for National Security Planning

**AP** 連合通信社。▶～電 \*Associated Press

**APEC** アジア太平洋経済協力会議。エーペック。\*Asia-Pacific Economic Coopera-

tion  
**APL** コンピューターのプログラミング言語の一。\*IBM社が開発。/A Programming Language  
**Apr.** 4月。\*April  
**APS** 幅24mmのカートリッジ入りフィルムを使用する写真システム。\*Advanced Photo System  
**APT** ①自動送画装置。\*automatic picture transmission ②工作機械の数値制御用に使われるプログラミング言語。\*automatically programmed tools  
**A.Q.** 学力指数。\*achievement quotient  
**AR** 拡張現実。現実には知覚できる映像にデジタル技術を重ね合わせる技術。\*artificial reality  
**Ar** アルゴンの元素記号。\*Argon  
**As** ヒ素の元素記号。\*arsenic  
**ASA** 米国規格協会。アサ。▶～感度 \*American Standards Association/ANSIに改称。  
**ASCII** アスキー。データ通信用符号体系の一。アスキーコード。\*American Standard Code for Information Interchange  
**ASEAN** 東南アジア諸国連合。アセアン。\*Association of Southeast Asian Nations  
**ASM** 空対地ミサイル。\*air-to-surface missile  
**AST** ⇨GOT \*aspartate aminotransferase  
**ASV** 先進安全自動車。自動運転装置や高度の事故防止機能を備える。ハイテク安全車。\*advanced safety vehicle  
**AT** 自動車の自動変速装置。オートマチック。▶～車 ㊤MT \*automatic transmission  
**At** アスタチンの元素記号。\*astatine  
**ATC** ①自動列車制御装置。\*automatic train control ②航空交通管制。\*air traffic control  
**ATL** 成人T細胞白血病。\*adult T-cell leukemia  
**ATM** 現金自動預金支払い機。\*automatic teller machine  
**ATO** 自動列車運転装置。\*automatic train operation  
**ATP** ①生物学で、アデノシン3リン酸。\*adenosine triphosphate ②世界男子プロテニス選手会。\*Association of Tennis Professionals  
**ATS** 自動列車停止装置。\*automatic train stop  
**Au** 金の元素記号。\*aurum  
**Aug.** 8月。\*August  
**AV** ①視聴覚に関すること。▶～機器 \*audio visual ②アダルトビデオ。\*adult video  
**AVC** 自動音量調整。\*automatic volume control  
**Ave.** 大通り。アベニュー。\*avenue  
**B** ①記号で、順序・組分けの2番め。▶1年～組 ②段階の2番め。▶～クラス ③血液型の一。B型。④紙の大きさの一。B判。⑤鉛筆の芯の太さを表わす記号の一。▶2B \*black ⑥胸囲を表わす記号。\*bust ⑦地階を表わす記号。▶B1 \*basement ⑧ホウ

素の元素記号。\*boron ⑨隠語で、パッティング。  
**B.A.** 英国で、文学士・文科系学士。\*Bachelor of Arts →A.B.  
**Ba** バリウムの元素記号。\*Barium  
**BASIC** ⇨ベーシック  
**BBC** 英国放送協会。国営放送。\*British Broadcasting Corporation  
**BBS** ネットワークを介して情報を交換するシステム。電子掲示板。\*bulletin board system  
**B.C.** 西暦紀元前を表わす記号。\*331B.C.のように書く。/before Christ ㊤A.D.  
**Bcc** 電子メールで、その受信者に知らせずに、他の宛先にメールのコピーを送る機能。Bccx。\*blind carbon copy  
**BCG** 結核予防のためのワクチン。\*bacille de Calmette-Guérin  
**BCR** バーコード読み取り装置。\*bar code reader  
**Be** ベリリウムの元素記号。\*beryllium  
**BF** ボーイフレンド。\*boy friend  
**BG** 女性事務員。\*business girl/現在はOLが一般的。  
**BGM** バックグラウンドミュージック。\*background music  
**Bh** ボーリウムの元素記号。\*bohrium  
**BHC** 強力な殺虫剤の一。\*現在、使用・製造禁止。/benzene hexachloride  
**Bi** ビスマスの元素記号。\*bismuth  
**BIOS** コンピューターで、基本的な入出力のシステム。\*basic input output systems  
**BIS** 国際決済銀行。ビス。\*Bank for International Settlements  
**Bk** バークリウムの元素記号。\*berkelium  
**BL** ボーイズラブ。\*boys love  
**BMI** 体満度の目安となる指標。体格指数。\*body mass index  
**BMX** 自転車で行なうモトクロス。また、その自転車。ビメックス。\*bicycle motocross  
**BOD** 生物化学的酸素要求量。水質汚染の程度を示す数値。\*biochemical oxygen demand  
**BOJ** 日本銀行。\*Bank of Japan  
**BOP** 開発途上国の低所得者層を対象とした国際的な事業活動。\*base of the economic pyramid  
**bps** 情報伝送速度の単位。ビット毎秒。\*bits per second  
**Bq** 放射性物質の量の単位ベクレルを表わす記号。\*becquerel  
**Br** 臭素の元素記号。\*Brom  
**BRT** バス高速輸送システム。バス専用道路による高速、高頻度の運行。\*bus rapid transit  
**BS** 放送衛星。\*broad-casting satellite  
**B/S** 貸借対照表。\*balance sheet  
**BSE** 牛海綿状脳症。\*bovine spongiform encephalopathy  
**BSL** 細菌やウイルスなどの病原体を危険度によって分類したレベル。WHOにより4段階に分類。\*biosafety level  
**BtoB** 企業間Eコマース。\*business to business  
**BtoC** 消費者向けEコマース。\*business to

# 日本語の表記一語の書き表わし方一

日本語の表記は難しい。数多くの漢字に加え、平仮名・片仮名が使われる。そして、面倒なことに、それらの使い分けの基準が明確でない。そのため、単に、文字を覚えればよいではすまされない。さらに、日本語では正書法が確立していない。いわゆる「正しい書き方」が決まっていない。例えば、「計る／測る／量る／はかる」や「申し込み／申込み／申込」のいずれの書き方が正しく、いずれが間違いかを即答できる人はいない。

以下に、このような日本語表記のあり方について、書き手が表記面でどのようなことに留意するとよいかを述べる。ただしここでは、話題を「語表記」に限り、数量の表記法、句読点を含む記号の使い方などには触れない。

## 1 日本語表記の基本

### 1.1 漢字仮名交じり文—文章表記の基本—

日本語の文章は漢字仮名交じりが基本である。漢字と平仮名が中核をなし、それに片仮名が加わる。したがって、文章を書くときに、語表記で漢字、平仮名、片仮名の3種類の使い分けが課題となる。その他、数量表記では算用数字か漢数字かという問題もあるが、ここでは、ひとまず措<sup>おく</sup>く。

使い分けの原則を知るために、次の例文で考えよう。

(1) 辞書を使って単語の意味や用法を調べる。

この文を、意味の切れ目にはば一致する文節で区切ると、

(2) /辞書を/使って/単語の/意味や/用法を/調べる/。

となる。この漢字と平仮名を■と○に置き換えると、

(3) /■■○/■○○/■■○/■■○/■■○/■○○/。

となる。斜線の直後には■があり、斜線の直前は○が来ている。つまり、文節は漢字で始まり平仮名で終わるブロックと一致しているのである。

よって、文を読むとき、■で始まり○で終わるまとまりを、1つのブロックと認識すれば、次の(4)のように、意味のまとまりごとに分割してとらえることができる。

(4) (辞書を) (使って) (単語の) (意味や) (用法を) (調べる)。

結局、日本語の文章では、漢字と平仮名があることで、意味のまとまりが認識しやすくなっている。欧米の多くの言語では、単語の前に空白をおく分ち書きによって、語のまとまりを示している。それに対して、日本語で分ち書きをしないのは、漢字と平仮名との混在によって意味のまとまりを示せるからである。だから、漢字と平仮名の使い分けにあたっては、意味のまとまりが区別できるように留意することが、読みやすい表記のために有効だと言える。

### 1.2 漢字と仮名の使い分け

そのような漢字と平仮名の有効な使い分けとは何か。文節は、

文節 = 1 個の自立語 (+ 付属語)

で表わすことができる。自立語が1つあり、付属語はないときも複数のときもある。自立語は、意味が明確で、漢字で書かれやすい。他方、付属語は助詞と助動詞で、普通は平仮名で書かれる。よって、(2)や(3)のように、文

節が漢字で始まり平仮名で終わるパターンが多いのは当然なのである。

ただ、自立語がすべて漢字になるわけではない。例えば、

(5) 雨が上がり、それで、決勝戦はやはり行なわれた。

の「それ」「やはり」は、自立語だが平仮名で書かれやすい。その理由としては、いずれの語もこの文における重要度の低いことが考えられる。その証拠に、(5)からこれらを省いて

(6) 雨が上がり、決勝戦は行なわれた。

としても、元の(5)の中心的な意味が損なわれない。重要な語句の部分には漢字を当て、そうでない部分を平仮名で書く傾向を認めることができる。それによって、漢字部分を中心に読み取れば、意味を理解できるようになっている。したがって、漢字と平仮名の使い分けの基準に、語句の重要度を用いると、文意が取りやすくなると言える。

以上を踏まえると、読みやすい表記のためには、漢字、平仮名、片仮名について、次のような使い分けの目安が有効となる。

① 漢字は、実質的な意味・概念を表わす部分に使う。

② 平仮名は、意味の上で重要度の低い、次のような部分に使う。

ア 助詞・助動詞

イ 用言の活用語尾

ウ 形式名詞・補助用言

エ 接続詞・感動詞・副詞

オ 音声を表記するための部分

これらのうち、ア、イは常に平仮名で書く。漢字で「迄<sup>まで</sup>」「様だ」などを書くのは避けるのがよい。それに対して、ウ、エは、常にとは言えないが平仮名で書くことが多い。ウで、例えば「…するとき」「…してほしい」などは実質的な意味が薄いので平仮名が望ましい。

オは、「だ、だ、駄目だ」の下線部分のように音声を表わしたり、「そこは工場<sup>こうじょう</sup>というより小さな工場<sup>こうじょう</sup>だった」の振り仮名部分のように漢字の読み方を指定したりするものである。

③ 片仮名は、実質的な意味・概念を表わす語句だが、漢字で表記できないものや、平仮名で表記すると読み取りにくくなる部分に使う。具体的には、次のようなものである。

ア 外来語・外国語、外国の人名・地名

イ 専門用語、動植物名、俗語・隠語

ウ 擬音語・擬態語

これらのうち、アは片仮名の典型的な使い方である。イは、常に片仮名で書くわけではないが、片仮名で書くことで、特殊な世界や専門分野のものであることを示すことができる。ウは「目はチカチカ、頭はガンガンする」のように、片仮名で書くことで、前後の言葉との区切れ目を示す効果がある。

## 2 正書法と望ましい表記

### 2.1 正書法と語表記のルール

日本語では正書法が確立していないと言っても、ルールめいたものが全く存在しないわけではない。語表記に関するものとして、

(1) 常用漢字表 (2010年内閣告示)

(2) 送り仮名の付け方 (1973年内閣告示, 2010年一部改正)